

- ・関係法令
- ・学習指導要領
- ・第3期教育振興基本計画
- ・ふくおか未来人材育成ビジョン
- ・福岡県学校教育振興プラン
- ・行橋市教育の基本方針
及び重点施策

本校の教育目標

豊かな心を育み、自ら学び、
たくましく生きる子供の育成

- 【子供の実態】
○明るく活発
- 規範意識や自尊感情の醸成が課題
- 【保護者・地域の願い】
ふるさとを愛し、何事も最後まで
頑張る子供
- 【本校の教育の伝統】
特別支援教育を基盤とした教育活動

こんな学校で ありたい

- * 挨拶と笑顔があふれる学校
- * 学ぶ環境が整い
夢と感動のある学校
- * 家庭や地域に
信頼される学校

こんな子供に育てたい(重点項目)

- 思いやりの心を持ち、
素直で明るい子供【徳育】
- 仲間とともに主体的に
学び合う子供【知育】
- 意欲的に心身を鍛え
粘り強い子供【体育】

こんな教師で ありたい

- * 子供を大切にし、
教育に責任感のある教師
- * 個性を生かしながら、
チームで高め合う教師
- * 家庭や地域に
信頼される教師

本年度の重点目標

- ・挨拶と笑顔があふれる学校
- ・仲間とともに主体的に学び合う子供
- ・チームで協働し、高め合う教師

経営の重点

1. 確かな学力の向上を目指す授業改善
2. 豊かな人間性の育成
3. 特別支援教育の充実
4. 信頼される学校づくり

組織運営に関すること

- 1 組織的な協働体制の確立
～校務分掌・学年組織等の
協働化・機能化～
○「研究推進」「人権教育」「特別支援教育」「生徒指導」等の部会の定例開催及び計画的運営
○「学力向上プラン」の計画的な実施と評価・改善の充実
〈学力向上推進委員会〉
○実践状況や成果と課題の把握と方策の検討〈研究推進委員会〉
○生徒指導における「不登校」「いじめ」等の事案に対する、報告・連絡・相談・見届けの徹底
○「学年会」の定例化(水曜日)
○「企画委員会」における確実な学年情報の提供及び共有
- 2 経営参画意識の高揚
○評価を生かした教育活動の改善
○学校自己評価の計画的な実施と改善
- 3 教職員の資質向上(人材育成)
○校内研修と基本研修の計画的な実施
○OJTを活用しての授業力の向上
○若手教員が相互に研鑽を深められる場の設定
- 4 信頼される学校づくり
○教育課程の質と量の向上
○教育課程の計画・実施状況・結果の公表及び発信
○学校評価の実施と公表

教育活動に関すること

- 1 確かな学力の育成と
「学力向上プラン」の確実な実施
○教育課程の質と量の向上
○特別支援教育を基盤とした「わかる・楽しい」授業づくり
○中学年を中心とした算数科授業の
少人数授業の計画的な実施
○「のぶのびタイム」「のぶよみタイム」の充実
○「学力向上 虎の巻Ⅱ」の活用
- 2 豊かな人間性の育成と
基本的な生活習慣の定着
○規範意識・自尊感情を高めるために「鍛ほめ福岡メソッド」を活用
○道徳教育・人権教育の充実
○「積極的な生徒指導」の推進
○生活指導充実のための家庭と連携
*「早寝・早起き・朝ご飯」運動の推進
*「ノーテレビ・ノーゲームデー」の活用
○「体力向上プラン」による学校体制での体力向上の推進
○「延永小の学習規律」「学校のきまり」の徹底
○児童と教師の共通目標の設定
- 3 小中一貫教育の推進
○コミュニケーション科・郷土科の
確実な取組
○児童・生徒、教師間の交流促進

教育環境に関すること

- 1 施設設備・言語環境整備
○ユニバーサルデザインの視点を生かした「シンプル・クリア・ビジュアル」な学校環境づくり
○児童の言語活動充実に結びつく
掲示の工夫
○学校図書館を活用した読書活動の
推進・図書館教育の充実、
読書ボランティアの活用
- 2 児童の安全確保
～危機管理体制の確立～
○安全点検、交通指導の徹底
○交通安全教室、薬物乱用防止教室、
避難訓練等の計画的実施
○「安全・安心メール」を活用した
家庭との連携
○登下校中の児童の安全確保のための
「地域見守り隊」との連携
- 3 PTA・地域との連携強化
○各種通信、学校ホームページによる
情報提供、学校教育活動の「見える化」
の促進
○学校評議員会の活用
○「地域見守り隊」と連携
○小・小及び保・幼・小の連携推進





教科・領域ごとの本年度の努力点【指導の重点】

取組の具体

各教科	習熟別による少人数指導を中心として、確かな学力〈基礎基本〉を身につけさせる。	
道徳教育	道徳的価値と実生活との関わりを自覚できるよう、道徳の学習と学校行事等を関連づけた指導を行う。	
外国語活動	コミュニケーション能力の向上に向けて、4技能〈聞く・話す・読む・書く〉の活動の充実を図る。	
総合的な学習の時間	主体的な態度の育成に向けて、探求的な学習の過程〈課題の設定→情報の収集→整理分析→考察〉の徹底を図る。	
特別活動	自主的・実践的な態度の育成とともに、集団生活での基本的な行動の仕方を身につけさせる。	
特別支援教育	通常学級を含む特別な配慮を要する児童の実態把握及び個別の指導・支援の充実を図る。	
人権教育	人権尊重の視点〈エビ・サレザイ〉に立った教科指導や学級経営〈特に環境づくり〉を行う。	
生徒指導	いじめ・不登校防止に向けて、アンケートを活用した教育相談活動の充実を図る。	
キャリア教育	学校生活全般を通して自らの役割や働くこと、夢を持つことの大切さを理解させる。	
健康教育	学校保健	MRリテラシーを高めるために、発達段階に応じて保健学習と保健指導との関連を計画的に図る。
	学校安全	教師間の学校安全に関する共通理解のもと、行事や日常生活での指導の徹底を図る。
	食に関する指導 〈学校給食〉	学級活動〈給食の時間〉を中心に、正しい食事の在り方の指導・食習慣の形成を図る。
情報教育	プログラミング教育の充実に向けて、アンブラグド等の研修を実施する。	
学校図書館教育	全教科・全領域において、学校図書館等〈ゆっくん・Librio〉を積極的に活用する。	

